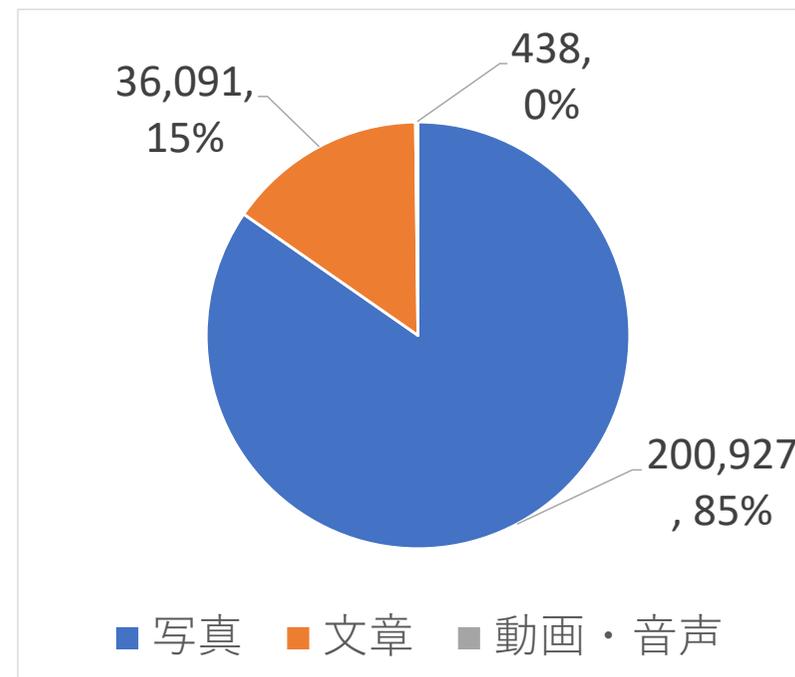


震災アーカイブの利活用について

災害文化アーカイブ研究分野
柴山明寛

震災デジタルアーカイブの利活用の現状

「いわて震災津波アーカイブ-希望」

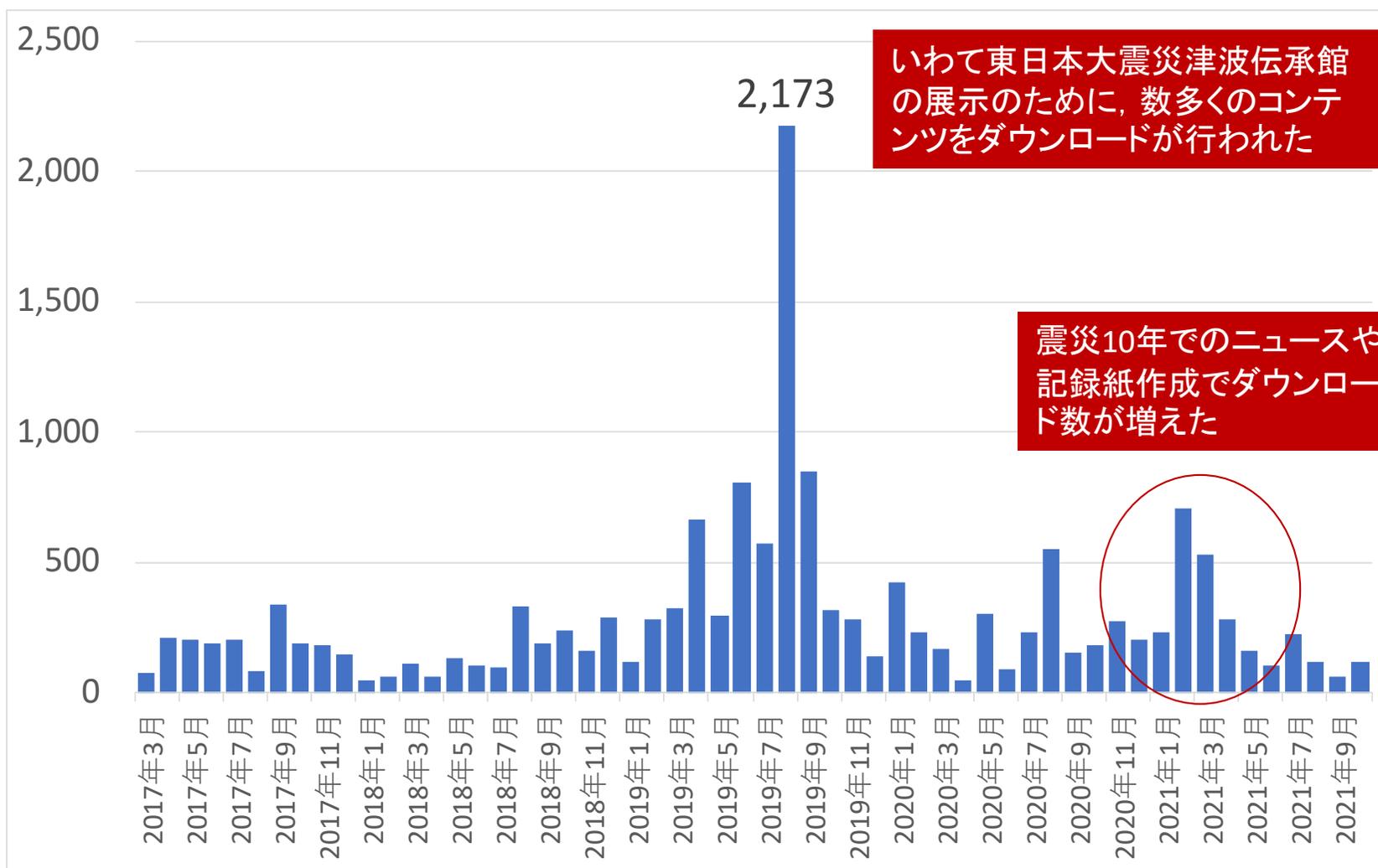


総数: 237,456万点

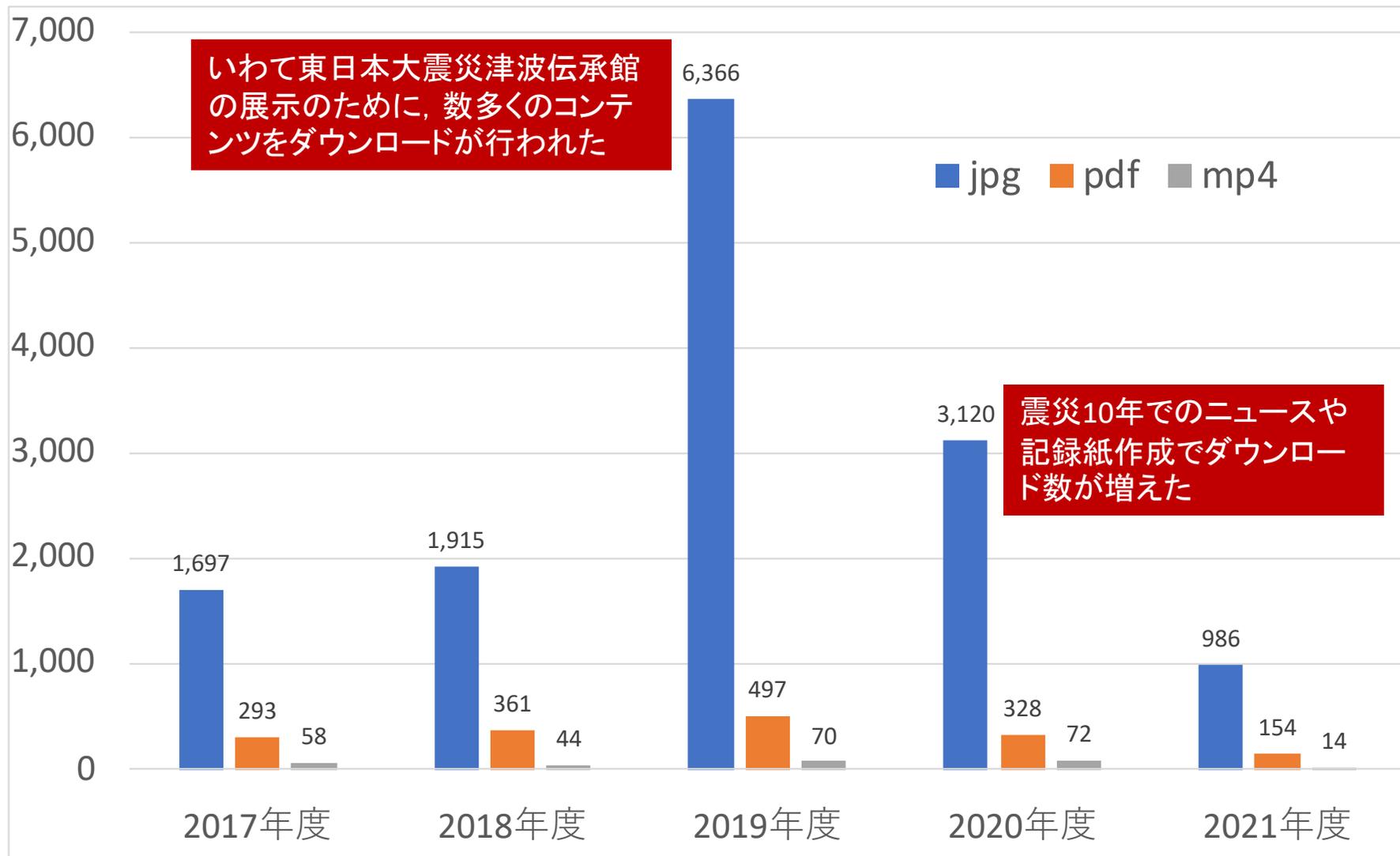
2017年3月公開

震災記録のダウンロード数について

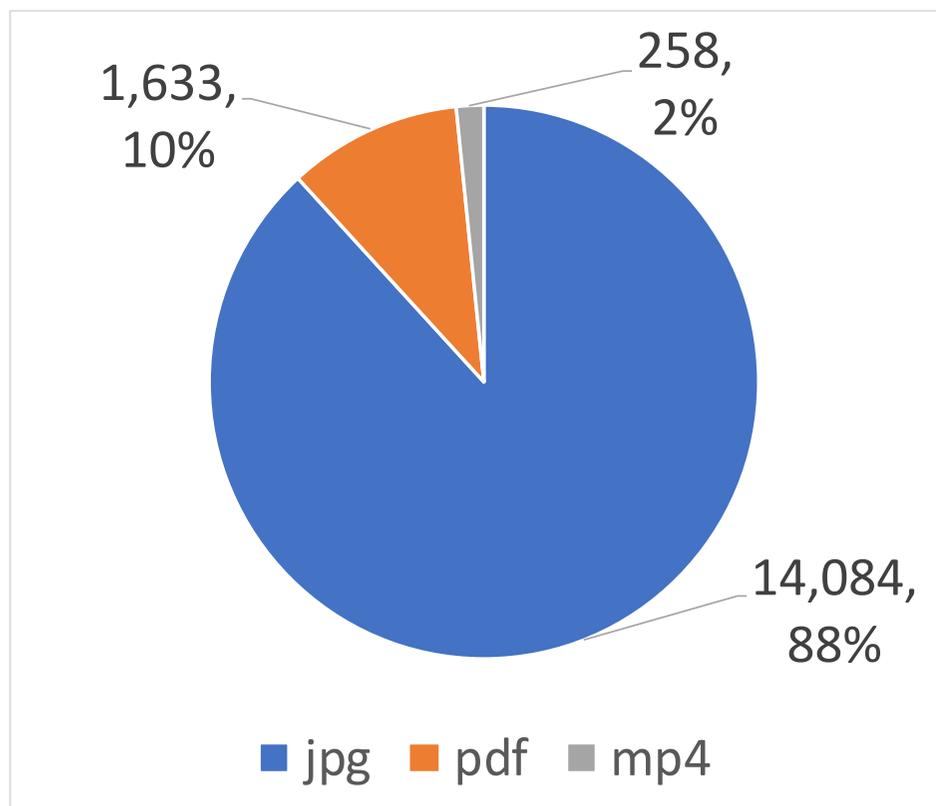
集計期間：2017年3月30日～2021年10月（約4年半）
ダウンロード総数：15,894コンテンツ（1日10件程度）



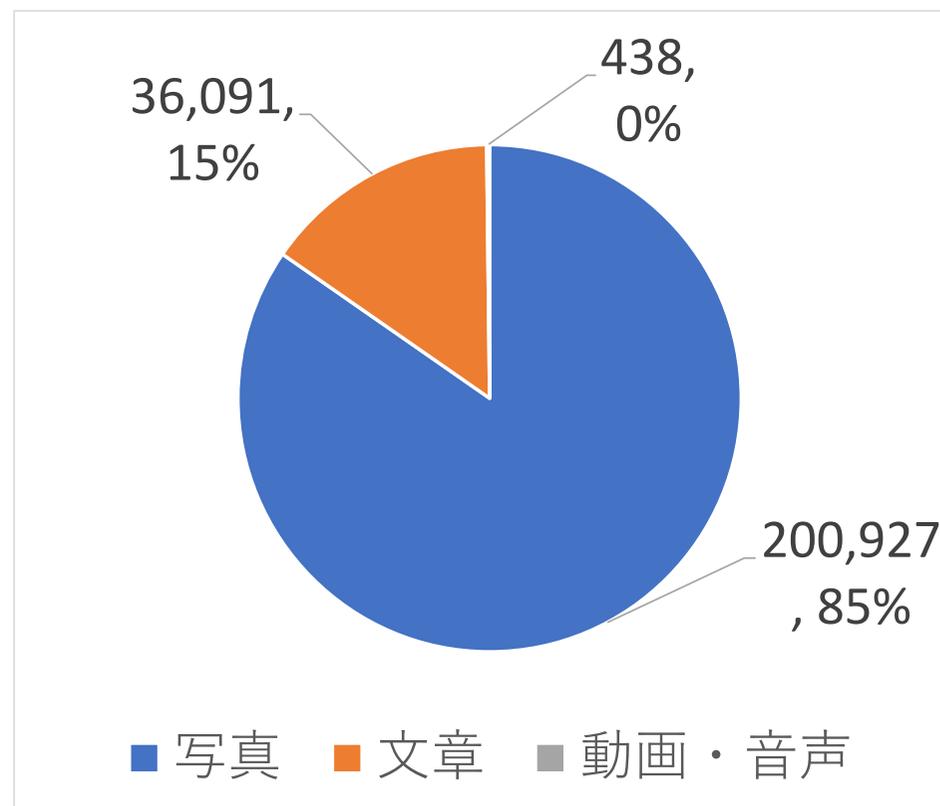
震災記録ダウンロードのファイル形式について



震災記録ダウンロードされたファイル形式



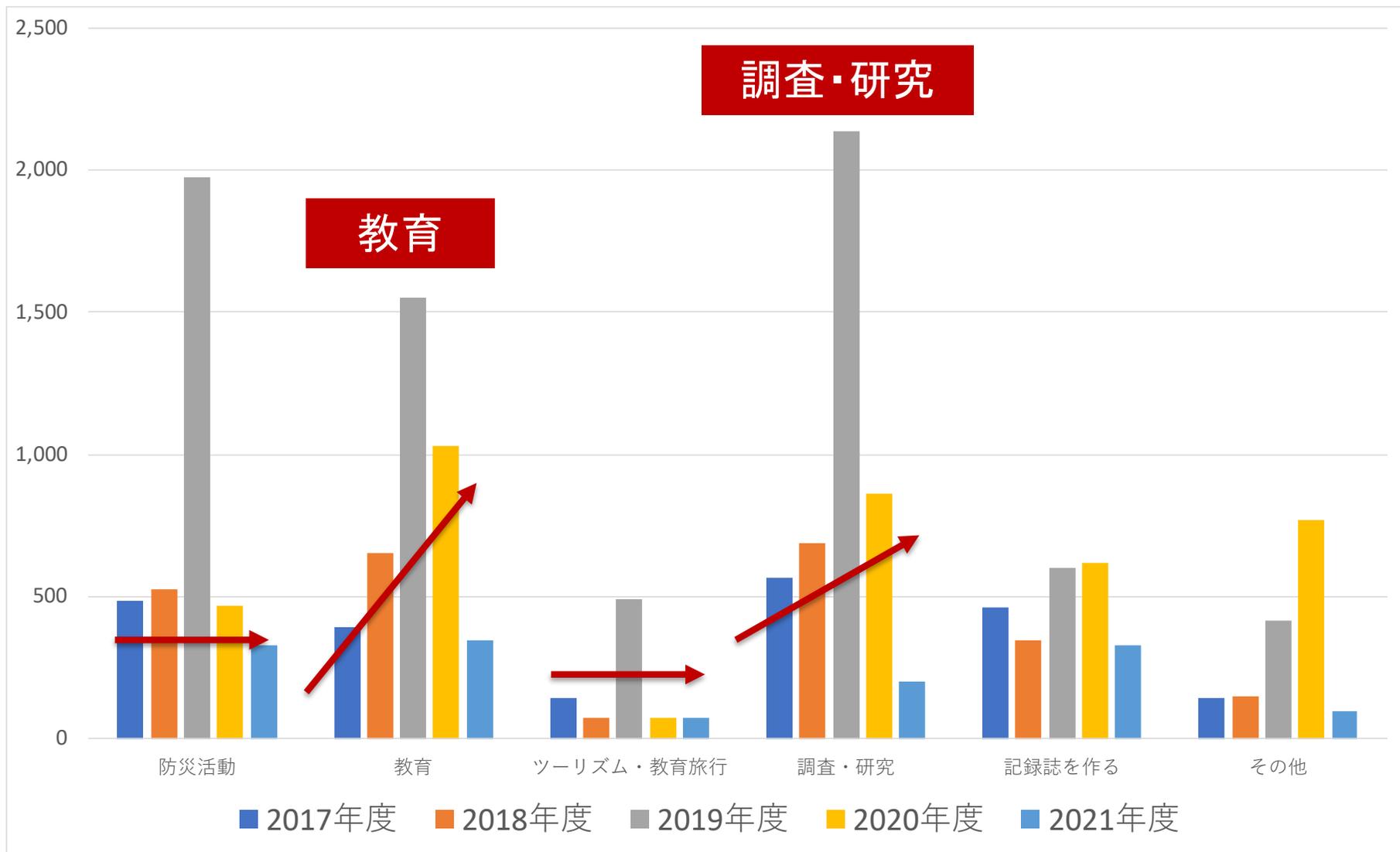
ダウンロードされた割合



アーカイブ全体の割合

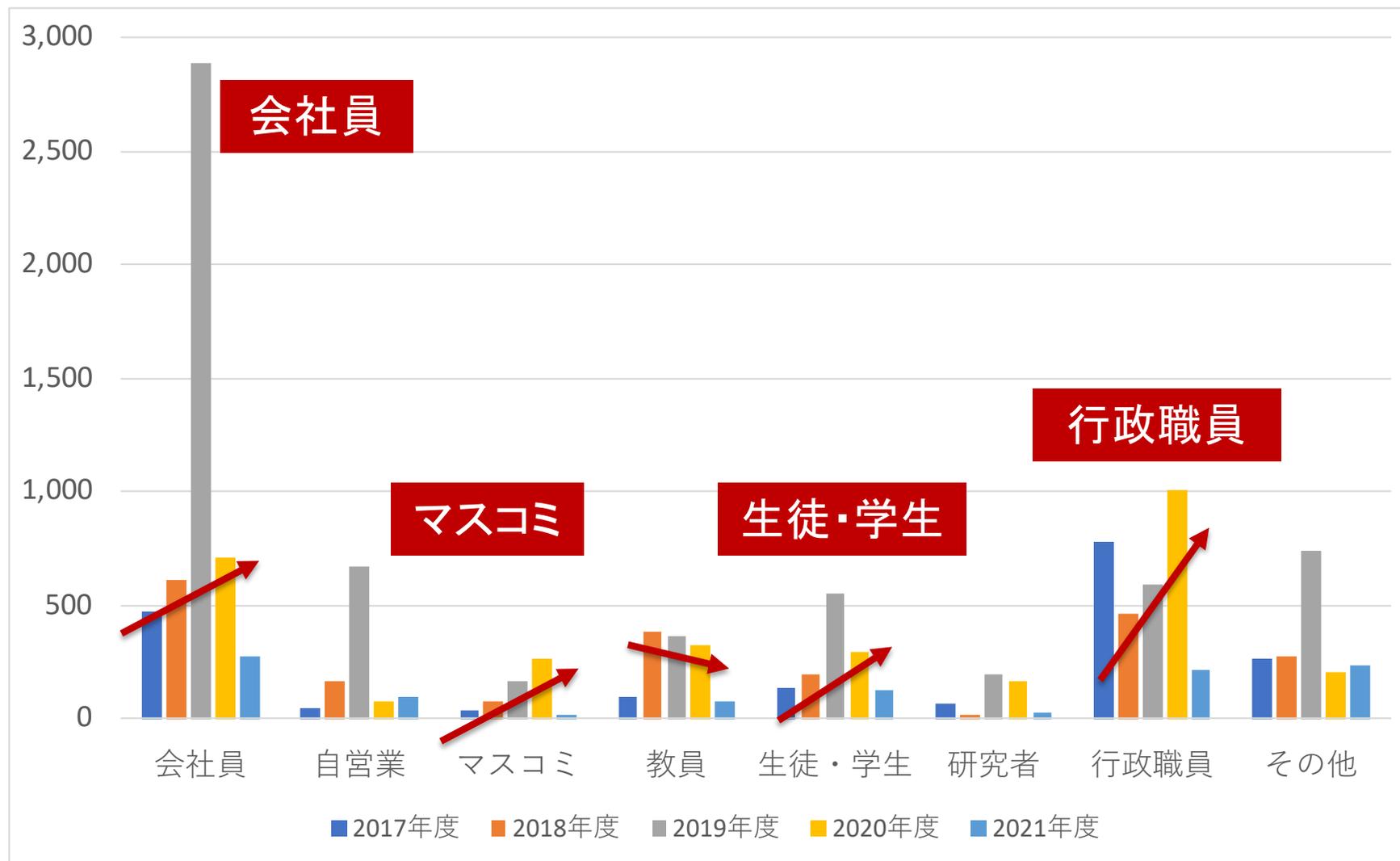
- ・映像は、全体の割合から考えた場合、ダウンロード数が多い傾向
- ・文章は、全体の割合から考えた場合、ダウンロード数が少ない傾向

ダウンロードされたコンテンツの利用方法



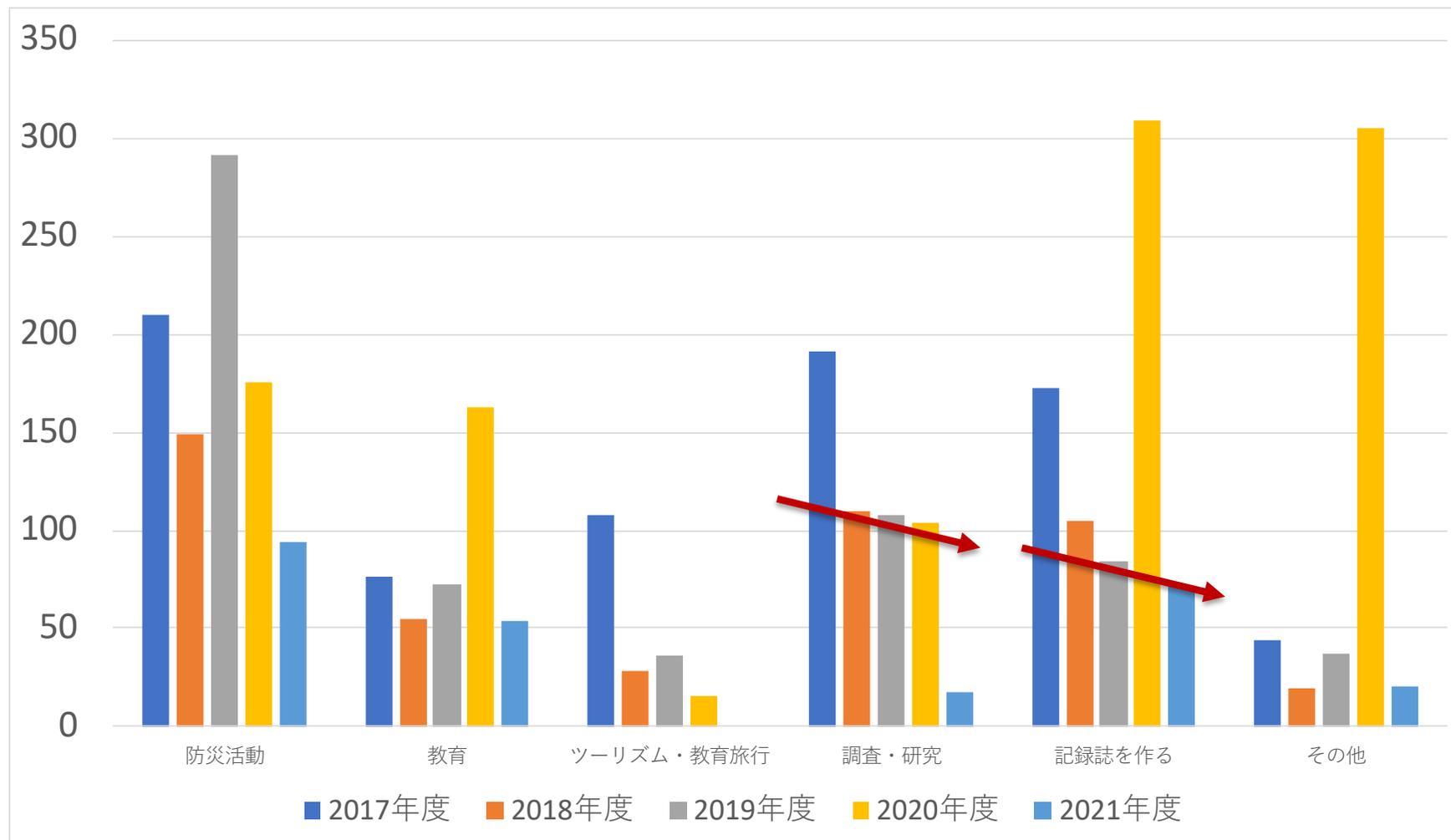
※一つの震災記録に対して複数の選択有り

ユーザ属性



※一つの震災記録に対して複数の選択有り

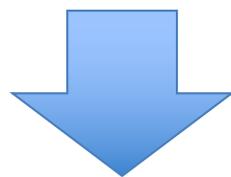
ユーザ属性(行政職員のみ)の利用方法



※一つの震災記録に対して複数の選択有り

震災記録の利活用の指標？

約4年半 = 15,894コンテンツ



震災記録の利活用数として
少ない？ or 多い？

震災記録の利活用の指標？

例えば……



宮古市の津波写真

良く用いられる1枚の写真は、数多くの方に津波の恐ろしさを伝えるものである。

ニュースや記録紙，チラシ等で様々な目的で使用している

震災記録の利活用の指標？

例えば……



岩手県陸前高田市
東日本大震災津波伝承館

2019年9月にオープン
現在までに約46万人来場

震災記録の利活用の指標？

アウトプット(ダウンロード数)も重要であるが、最も重要なのは、アウトカム(防災・減災効果)である。



そのためには「誰にでも」「使いやすく」「発見と活用しやすい」環境を整備することが必要である

震災記録の利活用の指標？

しかし、現状のアーカイブは、
「使いやすいとは言えない」

さらに、
「用語の変化に対応ができていない」

そして
「重要な震災記録がアーカイブ化されていない」

震災デジタルアーカイブで防災関連用語の検索



国立国会図書館
「ひなぎく」

ひなぎくには、「岩手アーカイブ」と「宮城アーカイブ」がAPI連携されているので、両方の結果も検索される



宮城県
「東日本大震災アーカイブ宮城」



震災デジタルアーカイブで防災関連用語を検索した結果(点数)

用語	ひなぎく	宮城	岩手
災害対策基本法	969	6	5
災害救助法	1,627	37	144
被災者生活再建支援法	495	4	6
原子力災害対策特別措置法	671	1	0
被災市街地復興特別措置法	172	0	1
東日本大震災復興基本法	64	4	0
東日本大震災復興特別区域法	372	8	100
復興交付金	5,286	94	2,505
福島復興再生特別措置法	225	0	0
防災集団移転促進事業	789	50	71
集団移転	10,085	360	7,813
津波復興拠点整備事業	117	35	37

※2021年12月現在

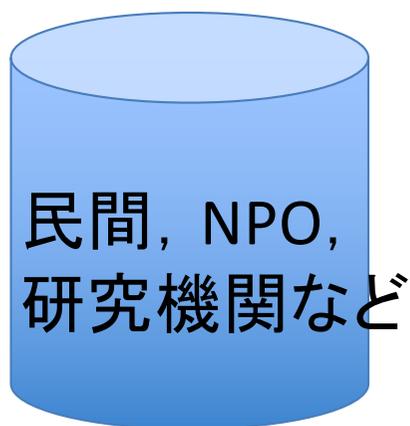
震災デジタルアーカイブで防災関連用語を検索した結果(点数)

用語	ひなぎく	宮城	岩手
避難所	57,616	5,013	9,553
指定避難所	386	18	63
避難場所	5,433	100	2,383
指定緊急避難場所	22	1	1
応急仮設住宅	31,048	294	20,749
公営住宅	14,057	601	3,646
災害公営住宅	10,406	401	3,079
復興公営住宅	1,621	118	236
災害復興住宅	884	59	18
震災復興住宅	154	0	0

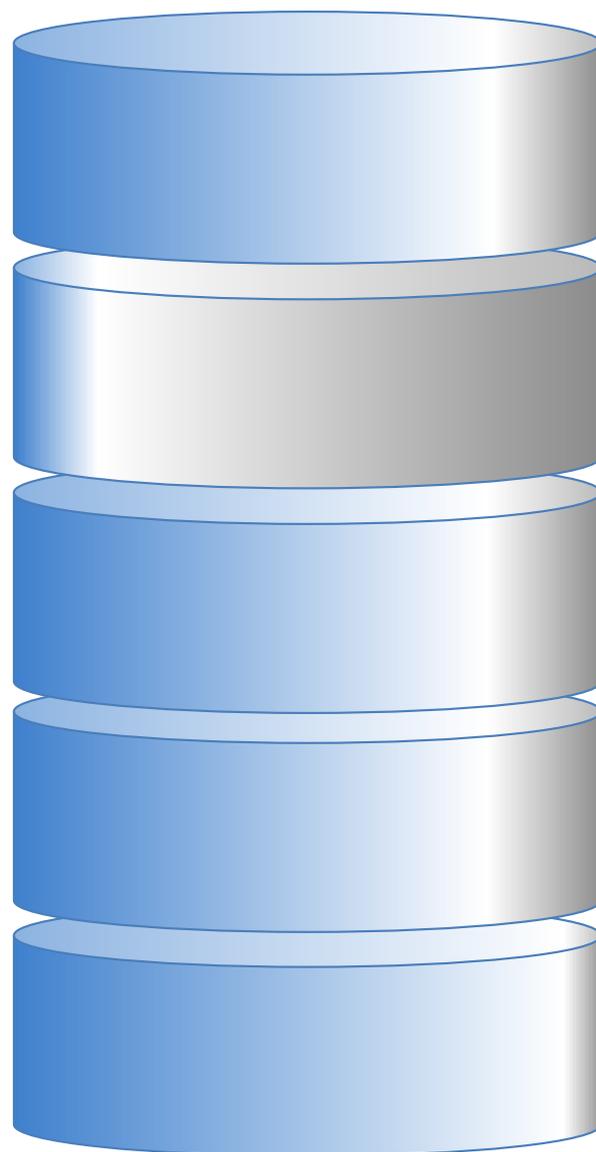
※2021年12月現在

シソーラス辞書が構築が不可欠

現在、アーカイブ化がされていない震災記録



民間, NPO,
研究機関など



国会審議等

官公庁アーカイブ

※国立公文書館で一部
はメタデータが検索可能

県アーカイブ

※福島県無し

市町村アーカイブ

※福島県浜通り無し

市民アーカイブ
(草の根, 地域)

ご静聴ありがとうございました。
shibayama@irides.tohoku.ac.jp

